

令和 5 年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|---|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3 年 |
| 科 目 名 | 国際統計分類 I ・ II | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 寺延 美恵子 |
| 時 間 数 | 前期：36 時間 / 後期：32 時間 | 実務経験：長年にわたり 3 病院で勤務。院長秘書、診療情報管理部門を主に担当した。その他、新築・開院等の大きなイベントや、電子カルテシステムの構築に参画。実務経験を活かし、実務で求められる人材像や、様々な出会で知り得る業務のやりがいを伝えながら講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病名等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する。 コーディングのための理論と基本的な技法を習得するとともに、頻度の高い疾病、疾病コードの特異的なものを中心に、補助コード等の演習も行い、さらなる技術習得とコーディング活用能力を向上させる。 第 1 章～第 21 章 演習問題 (ICD-10 付与)、退院時要約、原死因選択、解説 | | |
| 目 指 す 検 定 ・ 資 格 | 診療情報管理士認定試験 (国家資格に準拠) ・ 診療情報管理士 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 1 章～21 章の代表的な 30～35 傷病名に ICD-10 コードを付与する。各章の特徴を踏まえて、統計として正しい分類ができるように理解を深める。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | 退院時要約を読み、主傷病名、副傷病名、ICD-10 コードを付与し、医療行為には順位のあることに注意をする。 | 退院時要約を読み、主傷病名、副傷病名、ICD-10 コードを付与し、医療行為には順位のあることに注意をする。 | |
| 到 達 目 標 | 診療情報管理士認定資格取得 | 診療情報管理士認定資格取得 | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験 (95%) 出欠席 (5%) で評価をつける。 | 期末試験 (95%) 出欠席 (5%) で評価をつける。 | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | (1) 診療情報管理士テキスト・問題集 (2) 診療情報管理Ⅲ (3) 分類法演習問題作成 (認定試験問題類似) | (1) 診療情報管理士テキスト・問題集 (2) 診療情報管理Ⅲ (3) 分類法演習問題作成 (認定試験問題類似) | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3 年 |
| 科 目 名 | がん登録実務 | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 浅野 文章 |
| 時 間 数 | 前期：62 時間 / 後期：34 時間 | 実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | <p>がんの局在コードと形態コードを正しくコーディングすることができ、五大癌の部位別の進展度を付与する力を習得する。標準登録様式2016を使用し、がんの診断施設や診断日、治療施設を正しく選択できる知識を身につける。</p> <p>一般公表されている e-learning を使用し、がん概論、がん登録システム論、がん登録概論について理解し、がん登録の仕組みと歴史を理解する。</p> | | |
| 目指す検定・資格 | がん登録実務初級者認定試験 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | e-learning を行い、レポートを作成する。 標準登録様式に沿って演習問題を解き、がん登録の全容を理解する。 がん登録実務初級者認定試験の習得。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | e-learning を行い、レポートを作成することで、がん登録の歴史、必要性を理解する。 標準登録様式に沿って演習問題を解き、五大癌のがん登録を行う力を習得する。 | 標準登録様式に沿って演習問題を解き、五大癌のがん登録を行う力を習得する。 | |
| 到 達 目 標 | がん登録実務初級者認定試験の習得 | がん登録実務初級者認定試験の習得 | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験 (95%) 出欠席 (5%) で評価をつける。 | 期末試験 (95%) 出欠席 (5%) で評価をつける。 | |
| テキスト・副読本 | がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式 2016 年版 国際疾病分類 腫瘍学 (NCC 監修) 第 3.1 版 TNM 悪性腫瘍の分類 | がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式 2016 年版 国際疾病分類 腫瘍学 (NCC 監修) 第 3.1 版 TNM 悪性腫瘍の分類 | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3 年 |
| 科 目 名 | 診療情報管理演習Ⅲ(基礎) | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 浅野 文章 |
| 時 間 数 | 前期：112 時間 / 後期：時間 | 実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 診療情報管理士資格取得を目的とする。 基礎課程12章、専門課程8章、国際統計分類について、教科書・問題集を利用して全般的な復習を行う。さらに、診療情報管理士認定試験同様に基礎課程、専門課程は5者択一、択二問題作成、分類法は認定試験問題同様の類似問題を作成し、時間内に問題を解き、解説後、各自教科書に戻り、学習する。 | | |
| 目指す検定・資格 | 診療情報管理士認定試験（国家資格に準拠）・診療情報管理士 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 医学知識の理解を深めるために、各自学習ノートを作成。過去に解いた問題についても、不明点を解決しながら問題演習を進める。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | 演習問題をベースに、重要度や出題頻度に応じて、学習ノートを作成する。 基礎課程（12章）、専門課程（8章） ・あてはまる語句や数字を記載する。 ・あてはまる語句を語群より選択する。 ・可否を ○ ×で記載する。 | | |
| 到 達 目 標 | 診療情報管理士認定資格取得 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 診療情報管理Ⅰ（基礎） (2) 診療情報管理Ⅱ（医学用語） (3) 診療情報管理Ⅲ（専門） (4) 診療情報管理士教育問題集（基礎） (5) 診療情報管理士教育問題集（専門） | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---------|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3年 |
| 科 目 名 | 臨床医学各論 C | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 非常勤医師 |
| 時 間 数 | 前期：48時間 / 後期： 時間 | | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | <p>周産期疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。</p> <p>身体の形態、運動器に関わる骨、筋肉、関節、皮膚などの疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。</p> <p>医学用語について理解を深める。</p> | | |
| 目指す検定・資格 | 診療情報管理士認定試験（国家資格に準拠）・診療情報管理士 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 座学を中心に行い、人体の構造、疾病、医学用語について理解する | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | <p>周産期系について学ぶ。</p> <p>皮膚・筋骨格系、医学用語について学ぶ。</p> | | |
| 到 達 目 標 | 診療情報管理士認定資格取得 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。 | | |
| テキスト・副読本 | <p>(1) 診療情報管理 I</p> <p>10章 臨床医学各論VII(周産期系)</p> <p>11章 臨床医学各論VIII(皮膚・筋骨格系等)</p> <p>(2) 診療情報管理 II</p> <p>12章 医学用語</p> | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3 年 |
| 科 目 名 | 医療情報技術 | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 浅野 文章 |
| 時 間 数 | 前期： 40 時間 / 後期： 時間 | 実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 医療業界で専門職の一員として、医療の特質に基づき、最新の情報処理技術を活用することで、医療情報を安全かつ有効に活用・提供することができる知識・技術および資質を身に着ける。 | | |
| 目 指 す 検 定 ・ 資 格 | 医療情報技師能力検定試験、医療情報基礎知識検定 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 情報処理技術系・医学医療系・医療情報システム系の3分野について、特に情報系分野については2年次コンピュータ概論の応用で理解を深める。医療施設においても情報技術は必要不可欠であるだけでなく、新しい技術も日々出ている。そのため、本科目で学ぶことだけでなく、自らアンテナを張って知識を日々更新していくという気持ちを持って活動してもらいたい。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | 情報処理技術系・医学医療系・医療情報システム系の各分野について講義と演習、過去問題による答練を行い、検定の合格を目指す。全員対象の検定として医療情報基礎知識検定を位置づけ、次に医療情報技師と進める。 | | |
| 到 達 目 標 | 医療情報技師能力検定試験 医療情報基礎知識検定 合格 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験/確認テスト/検定試験結果(95%) 出欠席(5%) で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 【教材】 ・ 医療情報 医学・医療編 (一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会) ・ 医療情報 医療情報システム編 (一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会) ・ 医療情報 情報処理技術編 (一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会) ・ 医療情報技師 能力検定試験 過去問題・解説集 (南江堂) ・ 医療情報基礎用語集 (一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会) | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3 年 |
| 科 目 名 | 医療統計Ⅰ・Ⅱ | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 浅野 文章 |
| 時 間 数 | 前期：36時間 / 後期： 時間 | 実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | <p>診療情報を活用するための基礎として統計処理の基礎知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学び、診療情報管理士の求められる診療情報のクオリティマネジメントの考え方を身に付ける統計の倫理を学ぶ。</p> <p>次に、具体的に求められる成果を解説し、診療情報管理士が疾病統計および疾病統計の知識を身に付ける。</p> <p>統計方法、データの要約（記述統計学の方法）、統計学的推測の基礎、統計的仮説検定、仮説検定にともなう2種類の誤り、よく使う検定手法、2つの量的変数の関係</p> <p>データのグラフ表現、病院の統計資料、臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理統計</p> | | |
| 目指す検定・資格 | 診療情報管理士認定試験（国試験に準拠）・診療情報管理士 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 動画教材を使用したアダプティブラーニングを行う。定期的に確認テストを実施し、理解度を確認する。正しく数字を見る力を養い、あらゆる事象を統計的目線で見るようになる。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 前 期 | 後 期 | |
| 授 業 の 概 要 | 医療における意思決定は診療情報に基づいて行われる。診療情報管理士は診療記録の管理だけでなく、診療記録に含まれる診療情報を活用し、医療施設、医療職、患者、さらに医療政策を支援し、医療の質向上に寄与することが求められている。 | | |
| 到 達 目 標 | 診療情報管理士認定資格取得 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 診療情報管理士テキスト ・ 問題集 診療情報管理Ⅲ 6章 医療統計Ⅰ（統計理論） 7章 医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計） | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|--|---|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3年 |
| 科 目 名 | 卒業研究 | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 富川 真也 |
| 時 間 数 | 前期： 時間 / 後期： 61時間 | 実務経験：医療機関にて、医療事務（12年）・医療秘書（8年）現場での経験がある。診断書作成や秘書としてパソコン入力の経験があり、それを活かした授業をする。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 診療情報管理士として活躍していくにあたり必要となる知識を主体的に研究させ、医療業界そのものの理解を深め、現場で活用できる成果を上げる。 | | |
| 目指す検定・資格 | | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 学生が主体的にインターネットや文献を利用して研究を進め、パワーポイントを使用して発表を行う。主体的に研究を行う探究心と、発表を行うことによる達成感を体験させる。教師は研究に対し、経過ごとに修正をして精度を上げていく。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 後 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | 医療情勢や診療情報管理に関連した内容で、個人研究を通して知識を深める。 | | |
| 到 達 目 標 | 個人研究：個人で興味のあるテーマを設定し、10分程度のプレゼンテーションを行う。 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 個人発表（実技）95% 出欠状況 5% | | |
| テキスト・副読本 | 特になし | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3 年 |
| 科 目 名 | 診療情報管理演習Ⅲ(応用Ⅰ) | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 浅野 文章 |
| 時 間 数 | 前期：時間 / 後期：92 時間 | 実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 診療情報管理士資格取得を目的とする。 基礎課程12章、専門課程11章、国際統計分類について、教科書・問題集を利用して全般的な復習を行う。さらに、診療情報管理士認定試験同様に基礎課程、専門課程は5者択一、択二問題作成、分類法は認定試験問題同様の類似問題を作成し、時間内に問題を解き、解説後、各自教科書に戻り、学習する。 | | |
| 目 指 す 検 定 ・ 資 格 | 診療情報管理士認定試験（国家資格に準拠）・診療情報管理士 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 問題集を解き進める。講義中に質問を随時集約し、質問項目の解答を全体に対して解説を行う。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 後 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | 演習問題を時間内に解く。解説を行う。 診療情報管理士認定試験類似問題作成 基礎課程（12章：50～60問/回/60分）、 専門課程（11章：80～86問/回/90分）、 分類法（7～8設問：20～30解答/回/20分） | | |
| 到 達 目 標 | 診療情報管理士認定資格取得 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 後記試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅰ、診療情報管理Ⅱ、診療情報管理Ⅲ 基礎分野演習問題作成(五者択一、択二) 専門分野演習問題作成(五者択一、択二) 分類法 | | |

令和5年度 シラバス

| | | | |
|-------------------------------|---|--|-------------|
| 学 科 ・ 学 年 | 診療情報管理士学科 | | 3 年 |
| 科 目 名 | 診療情報管理演習Ⅲ(応用Ⅱ) | 科 目 区 分 | 一般科目 ・ 専門科目 |
| 開 講 期 | 前期 ・ 後期 ・ 通年 | 担 当 教 員 | 浅野 文章 |
| 時 間 数 | 前期： 時間 / 後期：80 時間 | 実務経験：病院で6年間、診療報酬請求、医師事務作業補助、診療録管理等の業務経験を活かし、医療機関での就職に必要な知識・技術を習得できるよう講義する。 | |
| 科 目 の 目 的 と 講 義 内 容 | 診療情報管理士資格取得を目的とする。 基礎課程12章、専門課程11章、国際統計分類について、教科書・問題集を利用して全般的な復習を行う。さらに、診療情報管理士認定試験同様に基礎課程、専門課程は5者択一、択二問題作成、分類法は認定試験問題同様の類似問題を作成し、時間内に問題を解き、解説後、各自教科書に戻り、学習する。 | | |
| 目 指 す 検 定 ・ 資 格 | 診療情報管理士認定試験（国家資格に準拠）・診療情報管理士 | | |
| 指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と | 問題集を解き進める。講義中に質問を随時集約し、質問項目の解答を全体に対して解説を行う。 | | |
| そ の 他 | | | |
| | 後 期 | | |
| 授 業 の 概 要 | 演習問題を時間内に解く。解説を行う。 診療情報管理士認定試験類似問題作成 基礎課程（12章：50～60問/回/60分）、 専門課程（11章：80～86問/回/90分）、 分類法（7～8設問：20～30解答/回/20分） | | |
| 到 達 目 標 | 診療情報管理士認定資格取得 | | |
| 成 績 評 価 方 法 | 期末試験（95%）出欠席（5%）で評価をつける。 | | |
| テ キ ス ト ・ 副 読 本 | 診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅰ、診療情報管理Ⅱ、診療情報管理Ⅲ 基礎分野演習問題作成(5者択一、択二) 専門分野演習問題作成(五者択一、拓二) 分類法 | | |